

令和元年度 地方創生推進交付金事業

①市単独事業1

交付対象事業の名称		まちにコミットするローカルイノベーター創出事業【R元～R3】						市評価	
事業内容		本事業における重要業績評価指標(KPI)						市評価	
		指標	総合戦略との関係性	(基準値)H30	(実績値)R元	R2	R3		
<p>【事業の全体像】 地域資源の活用と地域課題の解決をビジネスの手法で考える人材「ローカルイノベーター」を育成し、ローカルイノベーターがそれぞれ有機的につながり合うことで相乗効果生まれ、新たなビジネスやイノベーションを創出することで、外貨の獲得や地域経済の好循環につなげる。 また、地方に関心のある都市圏在住者や大学生等を対象に田辺市のヒト・コトにフォーカスした情報発信や人材育成に取り組むことで田辺市に本気で関わりたい、暮らしたいと思う新たな人の流れを生み、U・Iターンを促進させるほか、市街地活性化を中心とした移住・創業支援の取組との連携を図ることで、街なかにおける移住・創業につなげ、人口の社会減抑制と街なかを中心とした市全体の賑わいを創出することで、KPIの達成を目指す。</p> <p>【R元年度事業内容】 ●たなべ未来創造塾 交流人口の増加と地域経済の活性化を図るため、産官学金が一体となり、地域課題の解決や地域資源の活用をビジネスの視点で考える人材「ローカルイノベーター」の育成とビジネスモデルの創出に取り組む。 ・自ら考えて発案して実践する意欲のある方(若社長、後継者、幹部候補など)を対象に全14回の講義を行い、塾生それぞれがビジネスプランを発表</p> <p>●関係人口創出事業 都市部に暮らす20代～40代のローカル志向層や田辺市にゆかりのある者をターゲットに本市のヒト・コトにフォーカスしたプロモーションを行う。 ・関係人口創出のための首都圏セミナー ・雑誌等による上記セミナーおよび田辺市の地域資源の情報発信 ・首都圏在住者を対象とした田辺市関係人口ツアー</p> <p>●大学生みらいサポート事業 大学生の将来の選択肢の一つに「地元」や「地域」が入るきっかけを作るため、和歌山大学と連携し、田辺市のヒト・コトを題材とした寄付講義を開講する。 ・ローカルイノベーターをはじめ、田辺で活躍する様々なゲストが講師として登壇する講義 ・実際に田辺市を訪れてゲストの仕事ぶりや暮らし方を体感できるフィールドワークの実施</p> <p>●市街地活性化施設活用事業(tanabe en+) 街なかにおける交流・情報発信拠点として開設を予定している市街地活性化施設において新規創業を支援する取組や施設を活用した街なかの賑わい創出につながる取組を展開する。 ・地域の若手創業実践者を対象に研修会やワークショップの開催により、施設活用に向けた機運醸成と活用プラン構築を図る。</p> <p>【参考】 事業費(実績) 13,334,356円 交付金充当額 6,393,081円</p>		本事業を通じた関係人口 (本事業参加者のうち、自主的に本市を訪れた人数) (3年間で60人)	◎	計画値 0人 実績値 53人	10人	20人	30人	B 本事業を通じた移住者数を除き、当該年度の計画値を達成していることから、「地方創生に相当程度効果があった」と評価している。	
		本事業を通じた移住者数 (3年間で10人)	◎	計画値 0人 実績値 0人	2人	3人	5人		
		本事業を通じた創業・第2次創業件数 (3年間で22件)	◎	計画値 0件 実績値 6件	1件	8件	13件		
		たなべ未来創造塾受講者数 (3年間で52人)	◎	計画値 31人 実績値 12人	12人	20人	20人		

※本事業におけるKPIと総合戦略におけるKPIの関係性

①総合戦略と同KPI、②総合戦略と関連(同KPIの本事業のみから測定できるもの)、③その指標を達成することで、総合戦略のKPIの達成に繋がるもの

※市評価欄について

A: 地方創生に非常に効果的であった、B: 地方創生に相当程度効果があった
 C: 地方創生に効果があった、D: 地方創生に対して効果がなかった

交付対象事業の名称	地域資源を活用した街なかの賑わい創出事業【R元～R3】						市評価				
	本事業における重要業績評価指標 (KPI)										
事業内容	指標	総合戦略との関係性	(基準値) H30	(実績値) R元	R2	R3	B	新武道館における合気道の合宿利用人数及び植芝盛平顕彰館入館者数については、令和2年秋開館予定であるため数値はない。武道(合気道)教育の導入校は当該年度の計画値を達成しており、外国人宿泊客数は計画値を大きく達成していくことから、「地方創生に相当効果があった」と評価している。			
	<p>【事業の全体像】 本市を訪れる来訪者にとって「偉人」及び「世界遺産」への関心度は高く、その傾向は外国人観光客においても顕著である。一方、外国人観光客の多くは市街地エリア外への宿泊が大半となっており、街なかへの誘客促進が課題となっている。また、三偉人(武蔵坊弁慶、南方熊楠翁、植芝盛平)のうち、植芝盛平翁はその認知度に対して地域資源として活用するという認識が低いことが課題となっている。</p> <p>そのような中、偉人関連の周年事業や関連施設の開館が控えており、市内外への情報発信や官民一体となった記念事業等を展開することで、市への新たな人の流れを創出するとともに、地域資源に対する市民の理解を深め活用の機運を高める。</p> <p>また、外国人観光客にもわかりやすい街なか情報誌の作成や地域の受入体制強化につながる取組により、滞在しやすい街なか空間を醸成するとともに、闘雞神社と三偉人を軸に街なかの地域資源を結ぶ観光プランを造成し、国内外に情報発信することで、街なかへの人の流れと賑わいを創出する。</p> <p>【R元年度事業内容】</p> <p>●植芝盛平翁顕彰事業 R元年度に植芝盛平翁の没後50年を迎えることから、記念事業や奉納演武、武道教育支援等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺品、遺墨展の開催 ・合気道講習会の開催 ・ゆかりのある闘雞神社での奉納演武 ・市内地中学校の武道教育における合気道の導入支援 <p>●世界遺産闘雞神社創建1600年記念事業及び安藤家入城400年記念事業 R元年度は闘雞神社創建1600年、紀州徳川家附家老の安藤直次が田辺城入城400年にあたることから、本市の魅力を市内外に発信し、人の流れを創出する取組を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・闘雞神社創建1600年記念事業として、奉納落語講演・奉納記念コンサート、街なかウォークを開催 ・安藤直次関連事業として、入城400年記念企画展や附家老サミットの開催 <p>●市街地周遊促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人にわかりやすい街なか情報誌の作成 ・メニューの英語併記や会話ツールの作成といった外国人観光客とのコミュニケーションツール作成支援 <p>【参考】 事業費(実績) 10,991,200円 交付金充当額 4,042,114円</p>	外国人宿泊客数 (R3年度に50,000人)	①	36,821人	5,000人	5,000人			3,179人		
					14,105人	-	-				
		武道(合気道)教育の導入校 (R3年度に7校)	③	5校	0校	1校	1校				
					1校	-	-				
	新武道館における合気道の合宿利用人数 (R3年度に1,500人)	③	0人	0人	500人	1,000人					
				0人	-	-					
	植芝盛平顕彰館入館者数 (R3年度に5,300人)	①	0人	0人	2,100人	3,200人					
				0人	-	-					

※本事業におけるKPIと総合戦略におけるKPIの関係性
 ①総合戦略と同KPI、③総合戦略と関連(同KPIの本事業のみから測定できるもの)、②その指標を達成することで、総合戦略のKPIの達成に繋がるもの

※市評価欄について
 A: 地方創生に非常に効果的であった、B: 地方創生に相当程度効果があった
 C: 地方創生に効果があった、D: 地方創生に対して効果がなかった

②広域連携事業2

交付対象事業の名称		農村環境へのIT企業誘致を核とした仕事づくりと紀南地域・田辺市へのふるさと回帰促進事業【H30～R2】						市評価		
事業内容		本事業における重要業績評価指標 (KPI)						市評価		
		指標	総合戦略との関係性	(基準値) H29	(実績値) R30	(実績値) R元	R2			
<p>【事業の全体像】 地域経済牽引事業者である株式会社秋津野が行う新たなIT企業誘致のための拠点整備を支援することで、民間活力によるITビジネスオフィスの拠点づくりを行う。また、IT企業誘致のためのフォーラム開催やIT企業現地体験交流会などを県・市・民間事業者が連携して実施することで新たな雇用の場、仕事づくりにつなげる。</p> <p>【R元年度市事業】 ●U・Iターンフェア事業 ・地元企業合同説明会におけるWEB面談システムの導入 ●地域資源等の魅力情報発信による移住・創業、テレワーク推進事業 ・地域の農林水産資源や観光資源、創業支援制度等の各種支援制度、空き家・空き店舗情報をWEBや移住・定住フェアで発信 ●アジア圏への柑橘等海外販路拡充事業 ・アジア圏の海外商談会等においてPRを行う柑橘振興協議会への補助</p> <p>【R元年度県事業】※参考 ●首都圏からのIT企業誘致を図る取組 ・東京におけるIT企業誘致フォーラムの開催 ●IT企業誘致広報 ・H30年度に構築したウェブサイトの閲覧履歴の解析やIT企業にターゲットを絞ったWEB広告等の実施 ●開発合宿等の誘致 ・IT企業のエンジニアのアプリ開発合宿や経営戦略会議等の誘致 ●東京から和歌山県への人材の流れを促進する取り組み ・東京で開催された民間企業主催の転職イベントへの出展、PR</p> <p>【参考】 事業費(実績) 5,994,102円 交付金充当額 2,964,410円</p>		新設事業所の従業者数等54人	◎	計画値	84人	18人	18人	C	企業立地促進奨励金指定事業所数(秋津野への入居企業数)を除き、当該年度の計画値を達成できていないものの、秋津野における交流人口は概ね達成していることから、「地方創生に効果があった」と評価している。	
		実績値	14人	8人	-					
		企業立地促進奨励金指定事業所数(秋津野への入居企業数)3事業所	Ⓐ	計画値	4事業所	1事業所	1事業所			1事業所
		実績値	1事業所	3事業所	-					
		秋津野における交流人口(63,758人→82,885人)	◎	計画値	63,758人	2,550人	12,751人			3,826人
		実績値	5,572人	11,152人	-					

※本事業におけるKPIと総合戦略におけるKPIの関係性

Ⓐ総合戦略と同KPI、Ⓑ総合戦略と関連(同KPIの本事業のみから測定できるもの)、◎その指標を達成することで、総合戦略のKPIの達成に繋がるもの

※市評価欄について

A: 地方創生に非常に効果的であった、B: 地方創生に相当程度効果があった

C: 地方創生に効果があった、D: 地方創生に対して効果がなかった

広域連携事業2

交付対象事業の名称		地域を主体とした世界農業遺産活用戦略推進事業【H29～R3】	
本事業の評価検証については、みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会において実施する。			